

Title	前号目次 奥付
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1931
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.25, No.5 (1931. 5)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19310501-0121

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

に於て Das Prinzip der inneren Transmission に基くと答へる。即ち現物貨銀支拂は備主にとつても被備者にとつても、支拂目的に用ゐられた有形財を直接に消費して賣買の手を経ざる爲め價格形而上の不利が避けられ、斯くて時間と貨幣とを節する利あるが故に行はるのである。(S. 254)本書の最後に於てドブシは云ふ。自然經濟及び貨幣經濟なる言葉は一面的であり、然かも自然物のみが使用され或は貨幣のみが現はることは歴史事實に徴して無く、實際は兩者が共に並存するのであるから、寧ろ全く之を避けるを可とする。要之、經濟段階説は歴史事實と一致するものでなく、其の進化的構造にあつては全く支持すべからざるものである。そは個々の國及び時代に於ける、多様にして且相異なる發展を、何等根據なく單純化するものに外ならないのである。(S. 261)

以上紹介せるところによつて明かなるが如く、評者は本書を以て前掲ペロウの論文と共に、發展段階説に對する批判書として其の存在理由を認めたく思ふ。ペロウが理想型として段階説を採るべきを云ふに反して、ドブシは何等容認するところなく之を排斥する。此の孰れを採るかは讀者自身個々の問題たるべきであり、評者の之に臨む態度は前述の理由により之を他日に期したい。たゞ本書の讀後感に就て一言すれば、ドブシは其の主義とする「原資料第一」に餘りにも忠實なる結果、概觀としての各段階を全く夾雜物なき純粹なるものと做し、以て其の各が有する例外を極度にまで追及して自己の主張の裏書に充てることに汲々とする觀があるのである。

前號 (第二十五卷) 目次

◎明治初期の社會主義

加田 哲二

◎山鹿素行の經濟學說

野村兼太郎

◎カッセルの價格論と自由競争論

氣賀 健三

●一冊定價 金五拾錢 郵税金壹錢五厘
●半年分 金貳圓九拾錢 郵 稅 共
●一年分 金五圓四拾錢

●編輯及び事務に關する一切の用件は發行所宛
●營業に關する用件は發賣元宛
●原稿締切期日は發行の前月十日限

昭和六年四月三十日印刷
昭和六年五月一日發行
每月一回一日發行

三田會社 編輯 江田 範 保
發行所 東京市赤坂區新町五丁目四十二番地
印刷者 金子 鐵 五 郎
印刷所 東京市赤坂區新町五丁目四十二番地
金子 活版所

發賣元 東京市芝區三田町丁目壹番地
丸善株式會社三田出張所
電話高輪一九二六番

發行所 東京市芝區三田町丁目壹番地
理財學會
●尙ほ本誌は全國各市雜誌店にて販賣す